

全国保健師長会発足40周年
平成30年度 全国保健師長会活動方針

我が国は、世界に類を見ない少子高齢・人口減少の時代に突入し、地域住民は、自然災害や新興・再興感染症、疾病構造の変化、貧困や健康格差など、新たな課題に直面しています。住民が自らの健康を獲得し、健全な生活を維持していくためには、その課題解決に向けた直接的支援と、環境や制度に働きかける間接的支援の両輪が必要とされます。

私たち保健師は、個人、家族、地域に働きかけながら社会システムを整える活動を行ってきました。健康危機管理への対応や、虐待防止対策、自殺予防対策、生活習慣病対策、さらには地域包括ケアシステムの構築など、不確実性の高い課題にこそ地域特性に応じた専門性の高い活動が求められます。

全国保健師長会は、平成30年度に発足40周年を迎えます。これを契機に、引き続き公衆衛生看護活動の使命を全国の会員と確認・共有し、『保健師活動の原点から住民とともに創る未来』をめざすため、保健医療福祉や産業、教育分野などの多様な機関との連携を強化し、各ブロック活動の充実強化や研究的な取組の推進を図ることにより、次世代を担う保健師の成長を支援しながら、全国の保健師のつながりを強化してまいります。

平成30年度全国保健師長会活動テーマ

“未来を創造する公衆衛生看護活動の展開”

—みる・つなぐ・動かす～保健師の原点から住民とともに創る未来～—

平成30年度活動方針

1 専門性の高い公衆衛生看護活動の強化

- 統括的な役割を果たす保健師の配置を推進し、自治体の特性に応じた自治体の公衆衛生看護活動の質向上のための役割を発揮する。
- 地域に責任を持った活動を強化する。
- 保健師の現任教育の充実に向けた取組を推進する。

2 ブロック、支部活動の強化

- 効果的な保健師活動や人材育成等の取組などに関する情報交換・研修等を活発に行い自主的な活動を推進する。

3 各自治体における災害時対策の取組の促進と被災地における保健師活動の発信

- 災害時における保健師活動マニュアルを見直すとともにその活用を推進し、各自治体の災害時対策の取組強化に寄与する。
- 被災地における保健師の活動について情報発信する。

4 会員数の拡大

- リーダー的立場の保健師の入会を増やすため、未加入自治体への働きかけを強化する。